

平成26年第7回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

平成26年6月3日（火）午後4時

第一分庁舎2階会議室

2 出席委員

1番 島津 豊

2番 潮由 加子

3番 畠山 敏一

4番 大野 聡一

5番 長島 潔

3 出席職員

次長兼教育総務課長	川岸 勇一	学校教育課長	八倉 卷清彦
生涯学習・スポーツ課長	南塚 智樹	こども課長	高木 繁徳
学校給食センター所長	住田 賀津彦	図書館長	中山 明夫
埋没林博物館長	麻柄 一志	教育総務課長代理	江田 直樹
生学・スポ課長代理	高山 茂樹	学校教育係長	矢野 道宝
生涯学習係長	藤田 晶子	スポーツ係長	小林 弘幸
水族博物館管理係長	石崎 薫	教育総務課主任	明石 主計

4 傍聴人 なし

5 会議の要旨

午後4時、島津委員長が開会を宣する。

(1) 議決事項

議案第25号 魚津市教育委員会表彰等規則に基づく表彰について
スポーツ係長から説明し、全員異議なく承認した。

(2) 協議報告事項

- ① 平成26年度6月補正予算について（説明 川岸次長）
- ② 魚津市公共施設再編方針（素案）について（説明 川岸次長）
- ③ 魚津埋没林博物館改修基本計画について（説明 麻柄埋没林博物館長）
- ④ 魚津市学校規模適正化推進計画に係る説明会について（説明 江田教育総務課長代理）
- ⑤ 魚津市教育委員会に係る情報公開（ホームページ）について（説明 江田教育総務課長代理）
- ⑥ 魚津市教育施設の訪問視察について（説明 江田総務課長代理）
- ⑦ 所謂『越中米騒動』に関する記録の刊行について（説明 高山生涯学習・スポーツ課長代理）
- ⑧ 経田幼稚園の解体工事の日程について（説明 高木こども課長）
- ⑨ 桃山陸上競技場の改修工事について（説明 小林スポーツ係長）
- ⑩ 県立学校教員の逮捕について（説明 八倉巻学校教育課長、南塚生涯学習・スポーツ課長）

(3) 議事

【平成 26 年度 6 月補正予算に関して】

島山委員

坪野小学校の石碑設置について異論はないが、跡地はどうなるのか教えてもらいたい。

川岸次長

地元では利用意向がなく、一部の方からは校舎の利用希望もあったが、条件が合わず最終的に解体となった。解体後の敷地の利用については、財政課管理となっているがまだ決まっていない。

潮委員

坪野小学校にあった写真等の物品はどうしたのか。

川岸次長

記念となる物は、地元で立ち合いしてもらったうえ、北山会館や学びの森に一時保管している。今後の管理方法は、統合後の校舎や公民館などを含め検討していきたい。その他の備品のうち各学校等で利用できるものはそれぞれ再配置した。

【魚津市公共施設再編方針（素案）に関して】

大野委員

いろんな方と話をしていると、学校が4つになるので、公民館も最終的に4つにしたらどうかとの意見もでてているが。

川岸次長

20年、30年先に地区の皆さんからそのような意見が出てくれば別だが、教育委員会としては今のところ学校跡地への公民館機能の集約も含め、地区の拠点として存続していくこととしている。

長島教育長

獅子舞の継続などの問題もあり、できれば今の公民館単位でそういった地区の活動を続けていければよいと考えている。

川岸次長

閉校予定となっている学校も含めた耐震化の方向については、再編方針に記載のとおり、児童の安全面を考慮し、耐震化が必要な校舎は進めることとしているが、最終的には2棟残る。本江小については統合の関係で27年度の耐震計画を見送り新築することとし、西布施小については二重投資を避けるため耐震補強を行わず、使い勝手の良いコンパクトな建物を建てるといったことも視野に見送った。

【魚津埋没林博物館改修基本計画に関して】

潮委員

埋没林博物館は、ジオパーク認定の地となるのか。

麻柄埋没林博物館長

認定の地はあくまで富山県東部地区全体となり、埋没林博物館は、その中の拠点施設のひとつであり、ほかに立山カルデラ博物館、富山市科学博物館、黒部市吉田科学館が拠点施設となる。

糸魚川市は、市単独で世界ジオパークに認定されている。

潮委員

魚津市もそこまでならないのか。

麻柄埋没林博物館長

魚津だけでも埋没林のほかに洞杉、片貝の地質や化石の産出地など、資源はたくさんあるが、黒部市は黒部峡谷、立山はカルデラ博物館を中心に、それぞれジオパークを目指しており、バラバラに動いて認定を目指すよりも全体で行おうということになった。確かに広いエリアとなって「魚津」が薄れるが埋没林博物館はその中の4大拠点の一つとしてやっていきたい。

潮委員

もう一点、施設改修計画に関連してトイレの洋式化についてはどうなるのか。一部には和式を好まれる方もいる。また、便座は暖かいものか。

麻柄埋没林博物館長

現在、洋式トイレは多目的トイレのみであり、残りはすべて和式である。一つくらいは和式も残したいが、高齢者も圧倒的多数は洋式を望まれており、洋式化を進めたい。暖房便座は導入したい。

大野委員

今年の冬に立山で台湾の方50人とキャンプをしたが、台湾では富山県が有名で、特に雪の大谷と湾から望むアルプス、蜃気楼の3つをキーポイントとしている。死ぬまでには是非見るべきだともいわれている。

外国人にはそういう面があり、根室では漁船を出してその地域でしか見られない野鳥のバードウォッチングをしたところ、そこへ台湾人が観光バスでたくさん見に来ているそうだ。

是非、魚津でもそうした地域の資源を活かした特色ある新しい埋没林博物館をつくっていただきたい。

麻柄埋没林博物館長

台湾では、どうしても立山が有名であり、もう少し魚津をアピールする必要があると考えている。

【魚津市教育委員会に係る情報公開（市ホームページ）に関して】

潮委員

名前も含めて公開されてよい。

畠山委員

委員の名前も載せて、協議した内容を公開していけばよい。名前が出ないことに批判が出る可能性もある。

大野委員

富山県のような公開方法でよいと思う。

島津委員長

それでは、公開することで進めていきたい。

午後5時40分、議事が終了したので委員長が閉会を宣した。